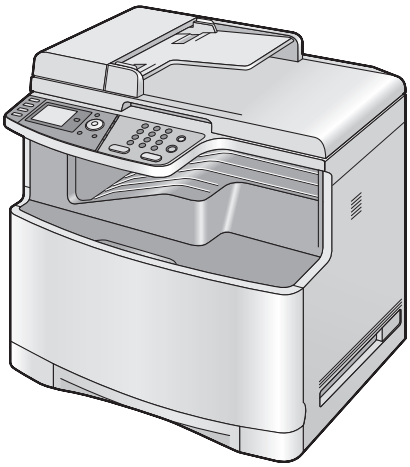
NTT

OFISTAR

OFISTAR P300C

取扱説明書（基本編）



技術基準適合認証品

はじめに 2
安全にお使いいただくために必ずお読みください... 3
使用上のお願い..... 10
1　電源スイッチをオンにする..... 12
2　操作モードを選択する 12
3　原稿をセットする 12
　3.1　原稿台ガラスを使用する..... 12
　3.2　ADF（自動原稿送り装置）を使用する ... 12
4　ディスプレイメッセージ..... 13
5　オプション品と消耗品について 13
6　保守サービスのご案内 14

このたびは OFISTAR P300C をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

はじめに

■ 取扱説明書の構成について

本書「取扱説明書（基本編）」には、本商品を安全にお使いいただくための注意事項や本商品の主な使いかたなど、基本的な内容を記載しています。ご使用前にお読みのうえ、保管してください。付属されているCD-ROMには、詳しい内容と操作方法が記載された「取扱説明書（操作編）」が格納されています。「取扱説明書（操作編）」を表示するには、Adobe® Reader®が必要です。

■ 英語の操作表示について

本商品では、操作に使用する言語を日本語と英語から選択できます。
選択した言語が使用されます。初期値は日本語です。
設定の変更方法については、付属のCD-ROMに格納された取扱説明書（操作編）の機能#110（言語を選択する）を参照してください。
FOR ENGLISH USERS:
If you want to change the language setting to English, proceed as follows.

1. Press【機能】(Function) → 【#】【1】【1】【0】
2. Press【2】to select English. →【セット】(Set) →【機能】(Function)

■ お知らせ

- 本商品を操作する場合、本商品近くの使いやすい場所に電源コンセントがある必要があります。
- 電話機コードを延長しないでください。
- 購入時の段ボール箱と梱包材は、本商品の輸送および運搬に備えて保存しておいてください。
- 本商品を箱から取り出した後は、電源プラグキャップや梱包材を適切に取り扱ってください。

■ 廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意

本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内に登録または保持されたデータの流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に登録または保持されたデータを消去する必要があります。付属のCD-ROMに格納された取扱説明書（操作編）の機能#159（すべての機能を初期化する）を参照して初期化を実行してください。

■ アフターサービスについて

アフターサービスに関する詳しい内容は、「保守サービスのご案内」（14ページ）をお読みください。

- ご使用中に異常が発生したときは、ご使用をやめ、電源プラグを電源コンセントから抜いて当社のサービス取扱所にご相談ください。
- お客様または第三者が本商品の使用誤りによって生じた故障ならびにその不都合によって受けられた損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本商品は厳重な品質管理と製品検査を経て出荷されますが、万一故障または不具合がありましたら、至急当社のサービス取扱所までご連絡ください。

■ 国際エネルギースタープログラム

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本商品が国際エネルギースタープログラムの対象商品に関する基準を満たしていると判断します。

■ 商標

- AdobeおよびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SDロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- 本書に記載されているその他のすべての商標は、各所有者に帰属します。

詳しい操作については、CD-ROMに格納されている取扱説明書（操作編）を参照してください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマークの説明

⚠ **危険**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠ **警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP **お願い**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項や本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

ご使用にあたってのお願い

- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の外部電話端子は、電話網の仕様と完全には一致しないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- 本商品と電話網の間にアダプタなどが接続された場合、アダプタなどが電話網の仕様と完全には一致していないため、本商品が正常に動作しないことがあります。
- 電話交換局から遠距離の場合にはお使いになれないことがありますので、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。
- 本商品は、お買い求め時には、国内の相手と通信することを前提とした設定になっています。海外との通信を主に行われる方は、重要な通信を行う前に相手の方と正常に通信できるか確認をしてください。正常に通信できないときは、本商品の設定（CD-ROM 格納の取扱説明書（操作編）の機能 #411（ファクスを海外へ送信する））を変更してください。変更しても通信できない場合は当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信、録音などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- 本商品の設置工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事、修理は違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申し付けください。
- 本商品の取り扱いについては、必ずこの取扱説明書（基本編）および付属の CD-ROM に格納されている取扱説明書（操作編）をよく読み、理解したうえでお使いください。
- 本書とともに必ず、ご使用のパソコンの取扱説明書をよく読み、理解したうえでお使いください。
- 端末（パソコンなど）や本商品の設定によっては、意図しないダイヤルアップ接続が繰り返され、思わぬ通信料金が発生することがあります。この場合の経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。

本商品の設置場所について

⚠警告

本商品の設置場所について

- **本商品や電源プラグ、電話機コード、電話用コンセントのそばに、水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品や電源プラグ、電話機コード、電話用コンセントに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。**
- **本商品や電源プラグ、電話機コードは次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。**
  - 屋外、直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなどの温度の上がる場所
  - 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所
  - 湿気の多い場所や水·油·薬品などのかかるおそれがある場所
  - ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所
  - 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所
- **本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、本商品の内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。また、本商品の背面は必ず壁などから 10 cm 以上離してください。次のような設置のしかたはしないでください。**
  - 本商品を仰向けや横倒し、逆さまにする。
  - 本商品を収納棚や本箱、配線ボックスなどの風通しの悪い狭い場所に押し込む。
  - 本商品をじゅうたんや布団の上に置く。
  - 本商品にテーブルクロスなどをかける。
  - 本商品の周りに物を置いて、通風孔をふさぐ。
- **自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しないでください。本商品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。**
- **狭い場所で使用するときは換気をよくしてください。オゾンなどの発生により、においによって吐き気をもよおすことがあります。**

⚠注意

本商品の設置場所について

- **本商品は次のような場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。**
  - ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所
  - 振動、衝撃の多い場所
- **屋外に渡る配線は行わないでください。特に、建物から建物へ空中を通す配線は雷などによる故障の原因となることがあります。**
- **寒い場所から暖かい場所へ移動した後は、30 分ほどたってから電源を入れてください。すぐに電源を入れた場合、機器内部で結露が起こり、誤動作の原因となります。本商品が周辺温度に対応するまで放置してから電源を入れてください。**
- **シンナー・ガソリンなどの引火性の高いものの近くに設置しないでください。ガソリンなどが発火し火災をおこす原因となります。**

STOP お願い

本商品の設置場所について

- 本商品を電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（コンピューター、電子レンジ、スピーカー、テレビ、ラジオ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバーターエアコン、電磁調理器など）。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。
- 硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

本商品のお取り扱いについて

⚠警告

本商品のお取り扱いについて

- 電源は、AC100 V の商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。
- 定格 15 A・AC100 V のコンセントを単独で使ってください。テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- お客様による本商品の設置工事、配線作業、修理、移動などは危険ですから絶対におやめください。本商品の設置工事、配線作業、修理、移動などを行うときは、当社のサービス取扱所にご依頼ください。
- お客様が用意された機器を本商品に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所にご確認ください。確認できない場合は絶対に接続してお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から 1 年に 1 回は、電源プラグを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。
- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の電源スイッチを切り、電源プラグ、電話機コードをそれぞれ電源コンセントや電話用コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一、本商品を倒したり、キャビネットを破損した場合、すぐに本商品の電源スイッチを切り、電源プラグ、電話機コードをそれぞれ電源コンセントや電話用コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。また、電話機コードのモジュラープラグがぬれた場合は、乾いても、その電話機コードを使わないでください。
- 万一、本商品に水などの液体が入った場合、すぐに本商品の電源スイッチを切り、電源プラグ、電話機コードをそれぞれ電源コンセントや電話用コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

⚠警告

本商品のお取り扱いについて

● 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合、すぐに本商品の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災･感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● 本商品から異常音がしたり、キャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。

● 本商品（オプション品を含む）を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります）。

● 本商品のキャビネットは外さないでください。感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください。

● 電源コードおよび電話機コードなどを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりするとコードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。コードが傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

● 電源コードおよび電話機コードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災･感電の原因となることがあります。すぐに本商品の電源スイッチを切り、電源プラグ、電話機コードを抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

● 本商品や電源プラグ、電話機コード、電話用コンセントに水をかけたり、ぬれた手で本商品の操作や電源プラグおよび電話機コードの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● 万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。
- アース線が取り付けられるところは次の部分です。
  - 電源コンセントのアース端子
  - 銅片などを 65 cm 以上、地中に埋めたもの
  - 接地工事（第 D 種）が行われている接地端子
- 次のようなところには絶対アース線を取り付けないでください。
  - ガス管
  - 電話専用アース線
  - 避雷針
  - 水道管や蛇口

● 電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。

● 本商品や電話機、電源コード類を熱器具に近づけないでください。キャビネットやコード類の被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

● 近くに雷が発生したときは、すぐに電源プラグ、電話機コードを電源コンセント、電話用コンセントから抜き、ご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。

● トナーまたはトナーの入った容器を火の中には絶対に投じないでください。破裂したり、着火したトナーが飛び散り、火災ややけどの原因となることがあります。

⚠警告

本商品のお取り扱いについて

- 付属品の電源コードは、他の製品に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 取扱説明書で指示がない部分は操作しないでください。高温部分や突起のある部品にさわると、やけどやけがの原因となることがあります。内部をさわるときは、十分にご注意ください。
- 本商品部品（オプションのハンドセットを含む）を電子レンジや電磁調理機器などで乾かさないでください。発熱・発煙・火災・破裂の原因となることがあります。
- SDカードは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。

⚠注意

本商品のお取り扱いについて

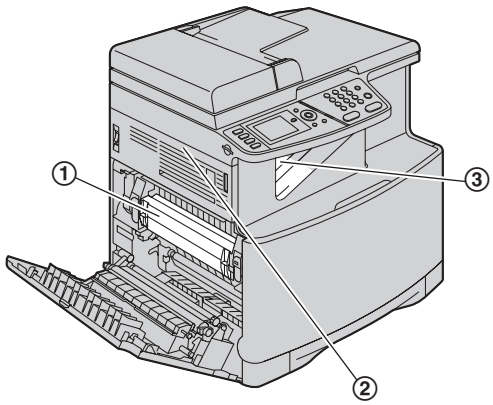
- 本商品の上に重い物を載せたり、トレイなどに体重をかけたりしないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。
- 本商品を長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 本商品は高度な技術によって構成された精密機器です。より安心して使用していただくためには、当社の定期点検をお受けすることをお勧めします。詳しくは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
- 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
- 清掃するときは、必ず電源を切ってください。
- 紙詰まりはそのまま放置しないでください。高温部の紙詰まりを放置すると紙が発火し、火災の原因となることがあります。紙詰まりは確実に取り除いてください。
- 鎖の長いブレスレットやネックレスなどをつけて操作しないでください。本商品内の部品に触れたり、巻き込まれて、感電やけがの原因となることがあります。万一事故がおきたときは、電源プラグを抜き、当社のサービス取扱所へご連絡ください。
- 動作中に光源ランプを直視しないでください。ランプの光により、目を傷める原因となることがあります。
- 用紙を満載にすると重くなるので、お取り扱いにはご注意ください。
  標準カセット：約 2.9 kg
  増設カセット（オプション品）：約 4.8 kg
- 原稿台（ガラス）に衝撃を与えたり、重いものを載せたりしないでください。ガラスが割れてけがの原因となることがあります。ガラスが割れたときは、電源プラグを抜いて当社のサービス取扱所へご連絡ください。
- 電源スイッチをオフ／オンしても“コールサービス”が表示され続けたり、異音など異常な動作をしたときは、必ず電源プラグを抜いてください。火災、感電の原因となることがあります。“コールサービス”のエラー番号をメモして、当社のサービス取扱所へご連絡ください。

⚠注意

本商品のお取り扱いについて

● 高温表示部とその周辺にはさわらないようご注意ください。高温部分にさわるとやけどの原因となることがあります。印刷中または印刷直後、定着部（①）は高温になっていますが、これは正常な状態です。定着部には触れないでください。紙詰まり処置などで内部をさわるときは、十分に注意してください。なお、本商品の左側（②）および用紙排出部付近（③）も暖かくなりますが、これは正常な状態です。

高温注意



● 電源コードは必ず付属のものを使用してください。付属以外のものを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

● 本商品のプリンターはレーザーを使用し、本商品はレーザークラス 1 の製品です。取扱説明書に規定した手順に従って正しくお使いください。それ以外の手順による制御や調整は、危険なレーザー放射の被ばくをもたらします。

レーザーダイオード特性
レーザー出力：最大6.5 mW
波長：770 nm - 800 nm
放出持続時間：連続

● トナーを摂取、吸引したり、皮膚接触しないようにご注意ください。
- トナーが口に入ったときは、多めの水を飲んで胃の中を希釈してください。
- トナーを吸い込んだときは、その場所を離れてきれいな空気の場所へ移動してください。
- トナーが皮膚に触れた場合は石けんと冷水で十分に洗い流し、自然乾燥させてください。お湯で洗ったり、ドライヤーで乾かさないでください。
- トナーが目に入った場合は、水で十分に洗い流してください。
- 上記いずれの場合でも異常があるときは、直ちに医師に相談してください。

● トナーまたはトナーの入った容器を子供の手の届くところに置かないでください。誤ってトナーを飲み込むおそれがあります。

● 電磁波放射限度に関する規定を順守するケーブルを使用してください。
- シールド USB ケーブル（例：USB 2.0 Hi-Speed 対応ケーブル）を必ず使用してください。
- シールド LAN ケーブル（カテゴリ 5（CAT5）イーサネットケーブル）を必ず使用してください。

STOP お願い

本商品のお取り扱いについて

- 本商品をぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。ただし、電話機コードのモジュラープラグ部分は、よくしぼった場合でも、中性洗剤をつけた布では絶対にふかないでください。
- 停電中に本商品の電源スイッチを切らないでください。停電復旧時に使用できなくなります。
- ナンバー・ディスプレイなどの発信者番号表示サービスのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。
- 通信やコピーなどの動作中に、電源プラグを抜いたり本商品の開閉部を開けたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- 記録紙およびトナーカートリッジ、ドラムカートリッジなどの消耗品は当社指定品をご使用ください。指定品以外の消耗品をお使いになった場合のトラブルにつきましては、当社では保証いたしかねますのでご了承ください。指定品につきましては、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。
- しわ、折れ、破れのある紙、湿っている紙、一度記録した紙の裏面などは使用しないでください。紙詰まりの原因となることがあります。
- 残った記録紙は包装紙に包み、湿気が少なく直射日光の当たらないところに保管してください。

使用上のお願い

■ 移動について

●本商品の移動は当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店におまかせください。
●転居の際は、サービス引継が必要です。（事前に当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。）

■ 法律で禁じられていること

次のようなコピーは所有するだけでも法律により罰せられますから十分ご注意ください。

●法律でコピーを禁止されているもの
　①国内外で流通する紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券
　②未使用の郵便切手、郵便事業株式会社製の郵便はがき
　③政府発行の印紙、酒税法や物品管理法で規定されている証紙類
●注意を要するもの
　①株券、手形、小切手など民間発行の有価証券、定期券、回数券などは、事業会社が業務上必要最低部数をコピーする以外は政府指導によって注意が呼びかけられています。
　②政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可書、身分証明書や通行券、食券などの切符類のコピーも避けてください。
●著作権の対象となっている書籍、絵画、版画、地図、図面、写真などの著作物は個人的または家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は禁じられています。

■ 電源高調波についてのお知らせ

JIS C 61000-3-2 適合品
本商品は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

■ 電波障害防止について

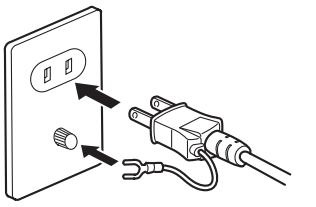
本商品は、クラス B 情報技術装置です。本商品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

■ 保護接地導体（アース線）接続について

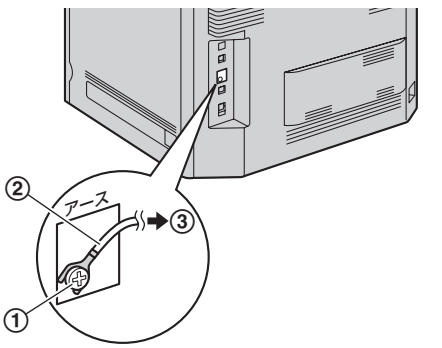
1. 電源コードの接続

接地接続は、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。
また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。



2. 本商品の接続

[アース]（接地）端子に必ず接地接続を行ってください。



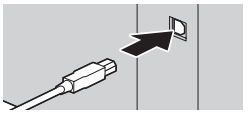
（1）本商品に固定してあるビス（①）をドライバーにてゆるめて取り外す。
（2）指定のアース線（②）をビスにて本商品に固定する。
（アース線は別売りです。）
（3）アース線をアース端子（③）に接続する。

お知らせ

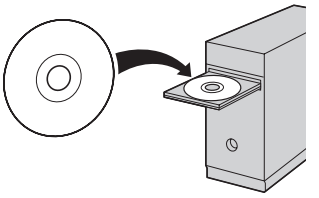
- 接地の際に使用する保護接地導体（アース線）は、断面積0.75 mm^2または18 AWG以上を使用してください。

■ 本商品とコンピューターとの接続について

Multi-Function Station（CD-ROM）のインストール前に、本商品をUSBケーブルでコンピューターに接続しないでください。Multi-Function Stationのインストール前に接続すると、［新しいハードウェアの検出ウィザード］ダイアログ画面が表示されます。［キャンセル］をクリックしてダイアログ画面を閉じて、ウィザードを中止してください。
USBケーブル接続でご使用になる場合は、Multi-Function Station（CD-ROM）をインストール中に、接続の指示がありますので、画面の指示に従って接続してください。

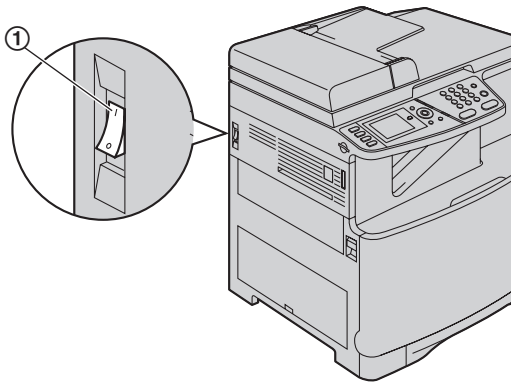


お願い
接続しないでください。



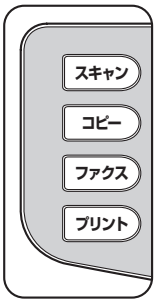
1 電源スイッチをオンにする

電源スイッチをオン位置（①）にします。



2 操作モードを選択する（スキャン／コピー／ファクス／プリント）

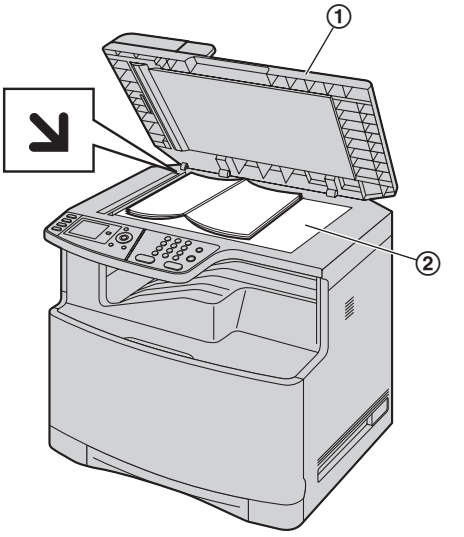
次の中から対応するボタンを押すと、目的のモードを選択することができます。



- 【スキャン】：本商品をスキャナーとして使用するときに、このモードを選択します。
- 【コピー】：本商品をコピー機として使用するときに、このモードを選択します。
- 【ファクス】：本商品をファクスとして使用するときに、このモードを選択します。
- 【プリント】：本商品をプリンターとして使用するときに、このモードを選択します。

3 原稿をセットする

3.1 原稿台ガラスを使用する

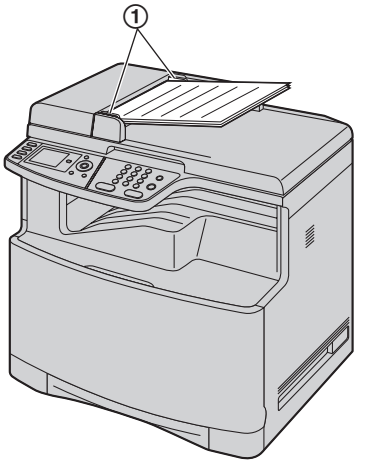


1 ADF（自動原稿送り装置、①）を開ける。

2 原稿を下向きにして原稿台ガラス（②）に置き、↘マークに原稿の左上部を合わせる。

3 ADFを閉じる。

3.2 ADF（自動原稿送り装置）を使用する



1 読み取る面を上向きにして、原稿（最大50枚）をADFに差し込み、ビープ音が1回聞こえる位置まで挿入する。

2 原稿ガイド（①）の幅を調整して、原稿の実際のサイズに合わせる。

詳しい操作については、CD-ROMに格納されている取扱説明書（操作編）を参照してください。

4 ディスプレイメッセージ

本商品の状態に関しては、次のいずれかのメッセージがディスプレイに表示されます。詳細については、CD-ROMに格納されている取扱説明書（操作編）の「10.2 ディスプレイメッセージ」を参照してください。

- “アクセスエラーです”
- “コールサービス”
- “トナーがありません　交換してください”
  “交換してください　ブラックトナー　：ありません”
- “トナーが少ないです　交換してください”
  “交換してください　ブラックトナー　：少ないです”
- “廃トナーカートリッジを交換して下さい”
- “廃トナーが満杯です　交換してください”
- “原稿を確認してください”
- “トレイ1が　装着されていません”
- “用紙を確認してください”
- “トレイ1の　用紙を給紙できません”
- “カラードラム　まもなく交換時期”
  “モノクロドラム　まもなく交換時期”
- “カラードラム　交換してください”
  “モノクロドラム　交換してください”
- “定着器冷却中です”
- “電話帳が一杯です”
- “ドラム　未装着です”
  “ドラムが　装着されていません”
- “Eメールサイズオーバー”
  “メールサイズが大きすぎます”
- “ファクス受信データあり”
- “ファイルサイズオーバー”
  “ファイルが大きすぎます”
- “前面または左側の　カバーが開いています”
- “コピー動作待機中です”
- “印刷動作待機中です”
- “室温が低すぎます　室温を上げてください”
  “室温が低すぎます”
- “メモリーが一杯です”
- “メモリーオーバーフロー”
- “モデムエラーです”
- “ファクス応答なし”
- “印刷できるデータがありません”
- “サポートしていない形式です”
- “サポートしていないメディアです”
- “用紙がありません　トレイ1”
  “トレイ1の　用紙がありません”
- “用紙詰まりです”
- “ＰＣ接続失敗です”
- “しばらくお待ちください”
- “再ダイヤル応答なし”
- “原稿の除去が必要”
  “原稿を除去してください”
- “受信メモリー一杯です”
- “同一名のファイルが存在します”
- “スキャナー位置の　エラーです”
- “SDの空容量不足”
  “SDカードの空容量が不足しています”
- “SDカードが挿入されていません”
- “書き込み禁止です”
- “キャリブレーション中です”
- “通信エラーです”
- “トナーカートリッジが　装着されていません”
- “トレイ2左側の　カバーが開いています”
- “廃トナー　未装着です”
  “廃トナーカートリッジが　装着されていません”

5 オプション品と消耗品について

オプション品および消耗品をご利用になるときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

■ オプション品

- ファクシミリ用 OP「44」増設カセット
- ファクシミリ用 OP「44」自動両面印字ユニット
- ファクシミリ用 OP「44」ハンドセットユニット

■ 消耗品

- ファクシミリ用 EP「S」形「17C」トナーカートリッジ
- ファクシミリ用 EP「S」形「17M」トナーカートリッジ
- ファクシミリ用 EP「S」形「17Y」トナーカートリッジ
- ファクシミリ用 EP「S」形「17K」トナーカートリッジ
- ファクシミリ用 EP1 形「P300C」「C」ドラムカートリッジ
- ファクシミリ用 EP1 形「P300C」「K」ドラムカートリッジ
- ファクシミリ用 EP「9」廃棄トナー容器
- 記録紙

お知らせ

- 当社指定外の消耗品をご使用になると、故障の原因となる場合があります。当社指定以外の消耗品を使用して発生したトラブルについて修理を依頼されますと、保証期間内であっても有償になることがあります。

6 保守サービスのご案内

1 保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたします。（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。ただし、トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、廃棄トナー容器を除く。）

2 保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしております。

■保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	● 修理に要した費用をいただきます。（修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。）（故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

3 故障に関するお問い合わせ

故障した場合のお問い合わせは局番なしの「113」（無料）へご連絡ください。（24時間 年中無休）

※ 携帯電話・PHSからは「0120-444-113」（無料）にてお受けしております。

※ 17：00～翌日9：00までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。

※ 故障修理等の対応時間は9：00～17：00となります。

● 修理時に、本商品に登録された電話帳などのデータが消失する場合がありますが、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。登録した電話帳などの重要な情報は、修理を依頼する前にプリントしたりメモして保管してください。

4 お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

5 その他

定額保守サービスの料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

6 補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しております。

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ： http://web116.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

使いかたなどでご不明の点がございましたら、NTT 通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

●本商品の取り扱いに関するお問い合わせ

フリーアクセス 0120−970413

（03−5667−7100※）

※携帯電話・PHS・050IP電話用　通話料金がかかります

受付時間　9：00〜17：00

※年末年始12月29日〜1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

●本商品の取り扱いに関するお問い合わせ

フリーアクセス 0120−248995

（携帯電話・PHSからも利用可能です）

受付時間　9：00〜17：00

※年末年始12月29日〜1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2012 NTTEAST・NTTWEST

本3205-1（2012.2）
G3-〈P300C〉-FAXﾄﾘｾﾂ

P300C

PNQW3277ZA　K0212HT0